



新しい時代における「お寺の機能」、「僧侶の役割」、「あるべき姿」とは何か。世の中の流れの中で、宗教の意義、お寺そのものの存在感/必要性といったものが、今あらためて問われているのではないか。その答えを探し、一歩踏み出す挑戦をしたい。

熊谷市郊外に位置する曹洞宗見性院の23代目住職を務める橋本英樹（えいじゅ）です。当院は、およそ450年以上の歴史を持つ由緒ある曹洞宗のお寺です。

これまで寺院の経営は、檀家制度によって経済的な担保が図られてきましたが、この檀家制度そのものが時代の流れとともに、弱体化する中で、お寺を取り巻く社会環境は激変しています。

寺院が担ってきたこれまでの役割期待を今後も果たしていくためには、時代のニーズにマッチした新たな経営手法を開発していく必要があります。

2012年6月に一早く「檀家制度」を廃止し、寄付・年会費・管理費を不要とし、さらに宗教・宗派・国籍を問わず、「みんなのお寺」を信条に新しいスタートを切りました。宗派や宗教、国を超えた「みんなのお寺」を目指し、未来志向と発想をもって、社会におけるお寺の在り方や役割を再定義したいのです。

現代版寺子屋への回帰を

～宗教家として、人の死に寄り添い、生き方を学ぶ～

新たなお寺のあり方を考えた時、寺子屋の原点にかえりたいと思っています。

コミュニティーの中心にして、様々な人が集い、学び、出会い、交流することのできる場です。コミュニティーの頼れる存在として、まさに「よろず相談所」の役割を担っています。

今回、私たちは、霊柩車の購入をして、寺院自らご遺体搬送を行える体制を整えます。

多くの寺院は、霊柩車を持たず、これまで専ら葬儀社がこの役割を担ってきました。しかし、寺院自ら、霊柩車を保有しご遺体搬送を行い、埋葬に至る人の終活、全過程に関わります。

葬儀社主導でお経を読むだけでなく、宗教家として、人の死に寄り添っていくことが大切です。

「みんなのお寺」としてのあり方を問い続けていく

「みんなのお寺」として、社会におけるお寺の在り方や役割を再定義し、そのあり方を問い続けていきたいのです。そして、当院でクラウドファンディングを成功させていただくことで、経済的苦境にある日本全国の寺院の経済的自立・再生モデルとなり、他の寺院の新しいお寺への変革を後押しできるような存在を目指したいと考えています。仏教界への貢献につなぐプロジェクトへ、背中を押していただけませんか。

第一目標金額：80万円 募集終了日：10月30日 23時まで

検索 レディフォー 見性院

<https://readyfor.jp/projects/kenshouin>



●クラウドファンディングとは

インターネット上に自分の思いを発信し、共感をしていただいた 多数の人から資金を募る仕組みのことをいいます。地方公共団体や、学校などでもクラウドファンディングを活用した取り組みが広がっています。

●問い合わせ先

インターネットでのご支援が難しい場合は、お振込み、または見性院に現金をお持ちいただいても構いません。裏面をご覧くださいと思います。ご質問は下記 問い合わせ先までご連絡ください。

曹洞宗 万吉山 見性院 (まんきちざん けんしょういん)

所在地：〒360-0161 埼玉県熊谷市万吉797 TEL：048-536-1785 メール：info@kensyouin.com